



平成 28 年 9 月 27 日

各 位

上場会社名 東宝株式会社
代表者 取締役社長 島谷 能成
(コード番号 9602)
問合せ先責任者 常務取締役経理財務担当 浦井 敏之
(TEL 03-3591-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 111,210	百万円 16,770	百万円 17,360	百万円 11,450	円 銭 62.62
今回修正予想(B)	114,900	24,400	25,000	16,500	90.33
増減額(B-A)	3,690	7,630	7,640	5,050	
増減率(%)	3.3%	45.5%	44.0%	44.1%	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	123,866	24,332	25,614	15,808	85.65

修正の理由

主力の映画事業において「映画ドラえもん 新・のび太の日本誕生」をはじめとして、シリーズ新記録となった「名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)」等、定番のアニメーション作品が好調に推移したことをはじめ、夏興行において「シン・ゴジラ」「君の名は。」がメガヒットしたこと、映画興行事業では当社配給作品の好調な稼働に加えて、昨年オープンの「TOHO シネマズ 新宿」が引き続き高稼働し、また「TOHO シネマズ 仙台」「TOHO シネマズ 柏」のオープンが業績に寄与したこと、演劇事業においては帝国劇場において「1789 バスティーユの恋人たち」「王家の紋章」の新作ミュージカルがいずれも盛況となったこと、不動産事業においては不動産賃貸事業が堅調に推移したことに加え、道路事業の業績が向上したことなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を大幅に上回る見込みとなりました。

以上により、平成 29 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、平成 29 年 2 月期の連結業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第お知らせいたします。

(注) 上記業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであって様々な不確定要素が内在しており、その実現を確約するものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以 上